

高南小学校 第 6 学年 「 国語 科 」 シラバス

学年の学習到達目標

国語に対する関心を持ち適切に書いたり話したり幅広く読書したりしようとする態度を育てます。

目的や意図に応じて考えたことを的確に話すことや相手の意図を考えながら聞く態度を育てます。

目的や意図に応じ、筋道を立てて文章を書くことができる力を育てます。

目的に応じて内容や要旨を把握しながら読むことができる力を育てます。また、読書に親しむ態度を育てます。

文字・句・言葉づかいなどの基本的なことを正確に理解できる力を育てます。また文字の組み立てなどに気をつけていねいに書くことができる力を育てます。

評価方法

観点ごとの評価規準を設け、

関心・意欲・態度

・日頃の授業中の態度や発言、読書の様子などから評価します。

話すこと・聞くこと

・テストだけでなく、聞く態度・発言・つぶやき・ワークシート等で評価します。

書くこと

・学習ノート・ワークシート・作文・日記等から評価します。

読むこと

・発言・朗読・テスト・ワークシート等で評価します。

言語についてのこと

・テストだけでなく文章中の言葉や文字、書写等で評価します。

おうちの方へ

国語科の学習では、「漢字ドリル」を利用しています。繰り返し学習することが大切です。家庭学習でも利用してください。また、習った漢字を使って、自分の考えたことや思ったことを書いてみるのも、たいへんいいことです。

教科書を繰り返して読むことと、図書室などを利用してできるだけたくさんの本を読むことをおすすめします。

月	学習すること	学習のねらい
4	表現を味わいながら声に出して読もう 漢字辞典を活用しよう 自分の意見を伝えるスピーチをしよう	・心情や情景を想像し、表現を味わいながら朗読の工夫をする。 ・漢字辞典の仕組みと三種類の索引の使い方理解し、効率的に利用できるようにする。 ・自分の考えや意図が伝わる工夫をして話したり話し手の意図を考えながら聞いたりする。
5	依頼の手紙を書こう ことわざや昔の言い方に関心を持つ	・依頼の理由や内容を整理して、目的や意図に応じて分かりやすく依頼の手紙を書く。 ・ことわざや昔の言い方に関心を持ち、表現の効果について知る。
6	文章の構成を考えながら読もう 気持ちのよい話し方をしよう 日本の文字に関心を持つ	・文章の構成を考えて、書かれている内容を正しく読み取る。 ・相手の状況や伝える内容に気を配り、その場に応じた言葉遣いを考えて会話をする。 ・平仮名と片仮名の由来と特色を理解し日本語の表記について知る。
7	強く語りかけてきたことを考えながら読もう 紹介文を書こう	・時の流れに注意して物語の流れをとらえ、最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめる。 ・目的や意図に応じて文章の構成を考えながら、簡単に書いたり詳しく書いたりする。
9	役割に応じた話し方を工夫してニュース番組を作ろう	・ニュース番組の構成を考え、役割に応じた話し方を工夫して話したり、話しての工夫に注意しながら聞いたりする。
10	作家と作品をかかわらせて読もう	・宮沢賢治の生涯について読み取るとともに、作家と作品のかかわりについて自分の考えをまとめて紹介しあう。
11	感動をリズムにのせて いろいろな言葉について調べよう 言葉の由来に関心を持つ	・言葉のリズムを生かし、表現を工夫して俳句を作る。 ・文章の構成に注意して書かれていることを読み取り、言葉への関心を深める。
12	構成をくふうして書こう	・和語・漢語・外来語の由来を理解し、日本語についての関心を深める。 ・日ごろの生活を見直して問題点を見つけ、書く事柄を整理し効果的な組み立てで文章を書く。
1	文末の言い方に目を向けよう 私たちの「未来」について討論しよう 文の組み立てに目を向けよう 人物の生き方を考えよう	・文末表現には話し手の判断や物事のとりえ方が表れていることを理解する。 ・文章の内容から筆者の考えを読み取り、「未来」についての自分の考えを明確にする。 ・文の骨組みを作る言葉と修飾する言葉を知り、文の組み立てについて理解する。 ・人物の生き方を考えながら物語を読み、最も強く語りかけてきたことを紹介しあう。
2	熟語の構成について考えよう	・三字以上の熟語の構成を理解する。
3	さまざまな表現方法を生かして	・今までに学習した表現方法を生かして思い出や将来への願いをまとめることで、主体的に学習する力を身につける。
年間	書写	・文字の組み立てや、文字の大きさ、文字の中心などを考えて書く。